愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	図画工作		
担当者(Instructors)	新實 広記	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

図画工作の基本的な知識や技術を身につけ、子どもの造形意欲や創造性を引き出す造形指導の理論と方法を実践的に学習する。自らが試行錯誤しながら造形表現を追求し、創造する喜びを味わい、造形を愛好する心情を養う。また、対面授業では実技を取り入れた講義を中心に行い、知識や技法を体験的に学ぶ。オンデマンド授業では、講義、調べごと学習を中心に行う。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。図画工作における共同、共感の意義を理解するためにグループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	描画の技法と表現の研究	様々な描画表現に触れそれぞれの技法の特性を理解する。	□
第2回	版画の技法と表現の研究	様々な版画表現に触れそれぞれの技法の特性を理解する。	□
第3回	デザインの技法と表現の研究	デザインのアイディアの出し方とデザイン技法の実経験をする。	□
第4回	工芸の技法と表現の研究	様々な工芸作品を紹介し工芸技法の実経験をする。	□
第5回	色の三要素（色の理解と体験）	色の三要素の講義を行い実際に色水を使って色の混食を体験する。	□
第6回	色と形（視覚言語）	色と形の関係を視覚言語としての見方からアプローチする。	□
第7回	遊びと造形表現（玩具製作）	玩具製作を行い子どもの遊びと玩具の関係を理解する。	□
第8回	造形遊び（土）	様々な種類の粘土を体験し、それぞれの粘土の特性を理解し造形を行う。	□
第9回	造形遊び（紙）	様々な種類の紙素材を使った造形を行い、それぞれの素材を生かした造形を行う。	□
第10回	造形遊び（木）	木材を使った造形を行い、それぞれの素材の特性を生かした造形を行う。	□
第11回	造形遊び（身近な材料）	身近なもの、素材を使った造形を行い、それぞれの素材の特性を生かした造形を行う。	□
第12回	空間表現の研究（計画）	空間を使ったインスタレーション作品の展示計画を立てる。	□
第13回	空間表現の研究（制作）	計画を立てたインスタレーション作品の製作、展示を行う。	□
第14回	鑑賞活動	様々な鑑賞教育の事例を紹介し自らの鑑賞活動の方法を考える。	□
第15回	まとめ	これまでの授業内容を振り返り図画工作指導の意義についてまとめを行う。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

次回の授業を理解するために、毎回指示するキーワードとなる専門用語を予め調べておく。（２時間）授業内で学んだ内容を教科書や配布された資料で振り返り理解を深めておく。（２時間）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

各回の授業後に、授業理解を確認するためのレポート課題を実施する。レポートの内容を確認後、より理解を深められるような自主学習の方法の提案や資料を提供する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	学習指導要領に示された図画工作科の知識や技能を通して創造的に指
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	学習指導要領に示された図画工作科の意義を理解し、基礎的な表現方法を身に付け工夫して指導できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	図画工作の様々な課題と向き合い、具体的な授業場面を想定した授業設計を主体的に行うことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

課題作品、課題レポート。オンライン授業は、授業振り返りの課題提出後に出席とする。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	子どもの資質・能力を育む 図画工作科教育法: 明日の小学校教諭を目指して　萌文書林	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業時に適宜紹介	
2		
3		
4		
5		